広報まき

1972年４月15日
第 145 号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表 (2) 3131
編集　商工観光課
印刷所　北洋印刷株式会社

住民基本台帳人口
（昭和47年３月31日現在）
総人口　27,246人
男 13,216人　女 14,030人
世帯数 6,176

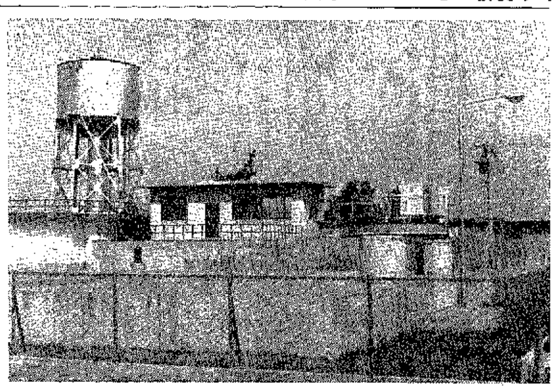
―第３回拡張工事終る―
良くなった水道事情
給水能力2.5倍の1万トンに

町では、水道事情を良くするため、四十三年度から四十六年度までの四か年度継続事業で第三回水道拡張工事に取り組んできましたが、三月二十九日完工式を迎えました。

拡張工事は①生活水準の向上で水の使用量が年ねんふえ、浄水場の能力アップが必要②給水区域の拡大③市街地の水道管取り替え（四十年前埋設）……などを主体に行なったものです。

工事経過は、初年度に沈澱池改造、構内排水管布設二年度に急速ろ過池、管理棟新築、電気機械施設、配水管入れ替えおよび延長、巻町ほか三か町村企業団で造った共同取水場（四十三年度から）、三年度に浄水池新設、配水管入れ替えおよび延長、最終の四十六年度に事務室増改築、配水管延長など四か年度で投入した総工費は三億七千百万円

拡張工事の完成で浄水場の給水能力も大幅にアップ。拡張前の四千トンからいっきょに二・五倍の一万トンになり、一人一日三百五十リットルの二万七千人が使ってもだいじょうぶとなりました。



拡張工事の完成で２万７千町民の生活用水が確保された浄水場

交通止め

町道東浦通り線（駅通り〜財務事務所通り間）舗装工事のため、四月十一日から五月十五日まで交通止めとなりますのでご協力ください。

町人事異動　四月一日付

四月一日、恒例の町人事異動の発令がありました。異動は人事の刷新をはかるため、毎年行なわれているもので、女性初の参事（課長級）が発令されました。

異動、昇任した人のなまえは次のとおりです。

〔課長級〕
▽管理課長内藤正吾（厚生課長）▽厚生課長伝川重二郎（建設課長）▽技術課長兼建築係長事務取扱高橋哲男（建設課参事）▽土木課長兼用地係長事務取扱宮腰重平（総務課参事）▽交通公害対策室長田畑一馬（議会事務局長）▽議会事務局長和田恵和男（管理課長）▽総務課参事管財係長事務取扱笠原藤一郎（総務課管財係長）▽保険衛生課参事国保係長事務取扱遠藤忠正（保健衛生課国保係長）▽水道課参事工務係長事務取扱桑田与七（水道課工務係長）▽給食センター参事係長事務取扱遠藤好（給食センター係長）、保健衛生課参事大場ミサ子（国保病院総婦長）

〔係長級〕
▽土木課土木係長富井秋雄（建設課土木係長）▽土木課主査斎藤寅二（建設課主査）▽土木課主査朝妻良夫（建設課主査）▽技術課第一係長手山国四郎（建設課係長）▽土木課第二係長星井忠（建設課主査）▽税務課主査坂爪往（建設課主査）▽交通公害対策室係長加藤建作（厚生課）▽保健衛生課主査高井タマ（保健衛生課）▽保健衛生課主査原スミ（保健衛生課）▽議会事務局主査早川周二（議会事務局）

〔一般〕
▽総務課本間秀一（管理課）▽管理課山下英雄（税務課）▽管理課猪俣ユリ子（厚生課）▽土木課棚辺辰夫、梨本昭三、鷲尾史雄（以上総務課）▽土木課徳吉礼子（住民課）▽技術課樋浦隆郎、太田道孝、若林満雄、田辺一男、石川昇、岡崎セキ子（以上建設課）▽税務課佐藤五郎（厚生課）、田中久美（出納室）、早川正子（農業委員会）、遠藤勝美（農林課）▽厚生課久保田靖文（消防本部）、伊比克（商工観光課）、草野ハツイ（保健衛生課）▽商工観光課乙川キク（厚生課）▽住民課山賀栄子（税務課）、高杉普弥（農業委員会）▽交通公害対策室阿部昭（給食センター）、山田初枝（住民課）▽保健衛生課上原光子（管理課）、石山慶子（国保病院）▽農業委員会河野美登子（住民課）▽国保病院神田清秀（総務課）、陶山ユキ（給食センター）▽消防組合大岩真治（税務課）▽農林課長谷川貞昭（税務課）▽給食センター村井進（保健衛生課）、遠藤マツ（国保病院）、宍倉しのぶ（あたご保育園）石塚力（税務課）▽巻中学校和田一夫（保健衛生課）▽分室星野徳二（給食センター）、斎藤昭吾（管理課）▽あたご保育園高杉敏子（四ッ郷屋保育園）、桑原祥（巻保育園）、米原智江（給食センター）▽巻保育園田辺ミイ（漆山保育園）、乙川君江（あたご保育園）▽松野尾保育園小林京子（漆山保育園）、大関ヤイ（巻保育園）▽四ッ郷屋保育園佐藤トヨ（巻保育園）、高杉敬子（あたご保育園）

〔新採用〕
▽あたご保育園森田裕子▽巻保育園新田アサ子▽松野尾保育園田辺裕子、五伝木イミ子▽漆山保育園竹内みち子、武田春美▽越前浜保育園斉藤栄子、清水悦子▽保健衛生課福田幸衛

国保の新年度予算
財政好転、国保税を減税

昭和四十七年度巻町国民健康保険特別会計（国保）の歳入歳出予算総額は二億七千九百六十七万円となりました。

国保の財政事情は、四十六年度で大きく好転し、四十七年度に繰越金九百五十万円が予定されています。

四十七年度は、本年二月からの診療報酬点数表や薬価基準の改定、さらに四十八年一月から実施される老人医療の無料化による影響等に対処、引き続き健全な事業運営を基本として予算が組まれました。

歳入

保険税の賦課割り合いは前年度と同じく所得割四五%、資産割一五%、均等割三〇%、平等割一〇%で現年度課税分一億一千一百九十二万三千円（一世帯当り三万一千五百三十五円、被保険者一人当たり七千九百六十一円）に滞納繰越四百八十一万四千円を合わせて国保税は一億一千六百七十三万七千円となりましたが、前年度当初に比較、六百十九万八千円の減額になりました。また、国庫支出金は一億五千二百十六万七千円、繰越金九百五十万円がおもなところです。

歳出

療養給付費は四十七年二月からの医療費改定率が平均一三・七%引き上げられ同時に薬価の引き下げが一・七%見込まれるので、前年度基準よりも一二%増を見込みました。受診率もわずかづつ低下傾向にありますが、一件当たりの費用額が増額しているため、一千十七万六千円増の三億三千八百五万円となりました。

また、任意給付の葬祭費が三千円から五千円、育児手当金が千八百円から三千円にそれぞれ引き上げられました。

角田山オープン
登山者グーンとふえそう

山開き式典後あいさつする江端町長

町、町観光協会の共催で恒例の角田山の山開きを四月二日山頂の向陽観音堂で行ない、今シーズンの山の安全を祈願しました。

前日来の寒波で角田山もうっすら雪化粧。しかし、登山道脇には早春を告げる雪割草、カタクリがかれんな花をつけ、五ケ峠コースから山頂めざす山開き参加者の心をなぐさめてくれる。

昨秋完成後、多くの参拝者でにぎわっている向陽観音堂内で午前十時三十分から式典を行ない江端町長、竹内十次郎県議ら五十人が山の安全を祈願しました。

以前から遠足、ハイキングなどに格好の山として人気を集めていた角田山も向陽観音堂の建立で信仰をプラス、文字通り信仰と観光の山となり、本年の登山者数は昨年を大幅に上回り、グーンとふえそうです。

白寿荘に十万円
横山清作さん寄付

にいだや横山清作さん（七区）はこのほど、町立病院脇に建設された寝たきり老人を収容する特別養護老人ホーム「白寿荘」に役立ててと現金十万円を寄付、関係者からたいへん喜ばれています。

洋画展

とき　四月十五日、十六日、十七日
ところ　巻町公民館
鑑賞に気軽においでください。

水道管の洗浄
22日・23日・24日

町水道課は、きれいな水を給水するため、定期的に配水管の洗浄作業を行なっています。

今年度も、四ッ谷通りの水道本管入れ替え工事が完了、今までの一部低圧送水を高圧送水に切り替えるため次の日程で洗浄を行ないます。

このため場所により一時断水やにごり水が出たりしますが、作業をすすめるうえに避けられないもので、あらかじめご了承ください

なお、長時間にごりのとれない場合はお手数でも水道課（TEL二一二一六四）にご連絡ください。

四月二十二日　一、二区、四区、東六区および鉄道東側の全区、赤さび、安尻、下和納。

四月二十三日　四区から十二区（四ッ谷通りから下の本町通り、および本町通りから西）、十三区、薬覚場中郷屋、割前。

四月二十四日　四区から十二区（四ッ谷通りから下の東浦から鉄道まで、）三区（堀山団地）。

作業時間はいずれも午後十一時から翌朝五時まで

消防組合議員決る

町議会臨時会が四月十日開かれました。

本年四月一日から発足した巻町・潟東村広域消防に伴う、巻・潟東消防事務組合議会議員の選挙が行なわれました。

選出された議員名は次のとおりです。

村松次一、大原政治、佐藤才司智、小林市平、井沢一二、真田関衛。

保険衛生課など
役場分室に駐在する課決る

旧巻保健所庁舎の役場分室に駐在する課が決まりました。

保険衛生課（国民健康保険係、衛生係、衛生組合、町民健康相談室）、農林課（農林水産係）、厚生課（厚生係のみ）、地籍調査室（地籍調査係）、農業委員会事務局（農業振興係、農政係）。

交通事故相談所

とき　５月11日　午前10時から午後３時まで
ところ　巻町公民館
対象　交通事故の被害者，加害者でお困りの方

今月の納税

固定資産税	第１期
国保税	第１期
軽自動車税	全期

納期　４月30日

町政日記
（３月分）

3日　保育園入園審査会。国民年金委員総会研修会。農地部会。農業問題講演会。
4日　町議会定例会。（24日まで）
6日　2，3歳児検診（10日まで）
7日　定例記者会見。巻農業高校卒業式。社会教育懇談会。公衆衛生推進委員会会議。スクールゾーン設定第２回打ち合わせ会議。
8日　種痘第１期（10日まで）
9日　移動交通事故相談。
10日　民生委員会協議会行政相談。
13日　献血。2，3歳児検診（14日まで）
14日　中学校卒業式。
15日　乳児検診(17日まで)
17日　種とう一期検診
18日　衛生組合関係町村課長会議。
21日　融資委員会。
22日　町民バレーボール大会。
23日　結核精検。
26日　町民将棋大会。
27日　例月監査（28日まで）。農業委員会役員会始まる。
28日　公民館運営審議会。緑の羽根募金運動打ち合わせ会。
29日　水道第３次拡張工事完工式。公民館分館長会議。町民講座。
30日　栄養指導車来町（31日まで）
31日　子どもクラブ表彰式

卸売・小売業が対象
商業統計調査にご協力を

一、**調査の目的**　商業統計調査は、全国の商店をもれなく調査して、商店数、従業者数、商品販売額、商品手持ち額などを業種別、規模別、地域別等には握しようとするもので、通産省が二年ごとに実施している指定統計調査です。

二、**調査の期日**　昭和四十七年五月一日現在でおこないます。

三、**調査の範囲**　日本産業分類による大分類G－卸売業、小売業に属する事業所について実施します。ただし国および公共企業体に属する事業所は除きます。

四、**調査の種類**　甲調査、乙調査、丙調査の三種類とし、甲調査は法人組織の商店、乙調査は個人経営の商店、丙調査は飲食店についておこないます。

五、**調査員**　調査員の名まえは次のとおりです。

阿部嘉作、棚辺辰夫、鷲尾史雄、加藤よし子、富山靖之、石田富行、久須美祐一郎、乙川靖衛、阿部仁、朝妻良夫、本間一也、土田寅平、本間顕伊、伝川末吉、河治冬樹、長谷川貞昭、小林作次、梨本昭三、平岡富雄、笠原藤一郎、阿部昭、小島修、野口スズノ、真田清松

六、**その他**　くわしいことは役場総務課行政係にお問い合わせください。

にぎわう商店街

農業の道しるべ

これでも立たないか

西村欣鐐

「世の中に金があふれているせいか、高いものがよく売れる」とは、町の商人の方の話である。

産業界は、その世情を察して、モデルチェンジや、イメージアップして新しいものを作り出す。それを次から次へと仕入れないと、人が集まって来ないという状態だという。世の中は、あふれる商業主義のとりこになって、大衆が催眠術にかかったように、意のままに動かされているからである。

「農業も、国際価格にまけないようにやれ！」という世論を作り上げているが、この言葉も、せんじつめると、わからなくなる。

たしかに小麦は安いかも知れない。しかしパンの値段はベラ棒に高い。

しかし、「外国農産物は安い」という、言葉に酔うて、一般庶民は何も考えない。パンの値段を論じて、生活の問題とつなげようとしない。

世間は、米の価格だけが生活に響き、他の物価がウナギのぼりに上っても、当然だとして、許している。

まったくマジックにかかっているのである。

なぜこんなことを言わねばならないか。それは本県の農業が、全国で一ばんみじめな落ち込みをしてしまったということだからである。米を作っているが故に、米の価格が無精に低いが故に起きる現実である。

米価据え置きで、四年位たてば、農家の経済力は半分になる、と叫んで来たが、三年にして新潟日報でも「憂うべき本県農業」という論説を掲げて、劣勢化した本県農業に言及している。

この弱い農業の体質を真剣になって考えなければならない。

経営的には「もうかる仕組み」を、技術的には「省力化の実現」を、農家経済では「再検討」を、そして農政的には「正しい農業政策の確保」を自分たちの問題として立ち上がり、その確保をしなければならない。

たまたま、米の生産は始まったのだが少しでも自分の環境を変える勇気と行動が出て来ているだろうか。

山火事防ごう
99%人災で発生

陽気も暖かくなり、野山に山菜とりやハイキングに出かける人が多くなりました。

山の行楽シーズンで一番頭が痛いのは山火事。発生九九%が人間の不注意によるもので、原因別はタキ火の不始末、タバコの吸いがらが上位を占めています。

山火事は発生すると消防水利がないため、消火作業がたいへんです。野山で吸いがらを投げ捨てたり、マッチが消えたことを確認せずに放置したりしないよう火の始末に十分注意して山火事をおこさないようにしましょう。

検察審査会の活用を

交通事故・その他の犯罪で，犯人を処罰するには，裁判所の裁判によらなければなりませんが，裁判所に犯人の裁判を求めるのは，検察官の仕事です。これを起訴といいます。しかし，検察官はすべての犯人を起訴するわけでなく検察官の判断で，起訴しないものもあります。これを不起訴といいます。

犯罪の被害者で，この不起訴処分に不服の方は，検察審査会に審査の申し立てができます。

検察審査会は，国民の代表として，衆議院議員の選挙権を有する者の中から，くじで選ばれた検察審査員で構成され，審査の申し立てを受けると，事件の真相を調査し，犯人が，起訴されるべきものと判断したときは検事正にその旨を勧告する国の機関です。

くわしいことは，新潟市学校町通1の1新潟地裁内〔新潟検察審査会事務局〕（TEL新潟22—4131）

河川をよごさないで

河川は私たちの日常生活に欠かせないもので、いろいろな面で大きな役割を果たしています。

①かんがい用水②飲料水③工業用水④雨水、生活廃水の排水路――などに利用されています。

ところがこの河川にビン、テレビ廃機、動物死体などのごみを捨てる人が多いため、非常によごれています。

みんなで河川にごみを捨てるのをやめ、いつもきれいな河川を保つよう心がけましょう。

目立つ河川敷きのごみ不法投棄

うぶごえ　（3月中届出）

なまえ	保護者	生年月日	住所
佐野郁子	堯	2・21	赤さび
長谷川真也	健二	2・22	河井
野沢整	忠	2・26	13区
藤田由理子	省三	2・26	3区
桑原康弘	正夫	2・27	赤さび
斎藤由美子	勝一	2・28	松山新田
林幸弘	幸一	2・28	漆山
坂爪昇	孝一	3・1	馬堀
梨本貴晴	昭二	3・3	漆山
本間豊	清	3・3	東6区
野沢恵子	惣吉	3・4	11区
長野一美	清司	3・5	赤さび
神保理子	宏一	3・7	13区
武田美由紀	忠志	3・7	東6区
立川英寿	寿亮	3・7	赤さび
渡辺江利	栄一	3・8	堀山新田
中村直美	昇	3・8	13区
本間祥和子	康治	3・8	7区
渡辺春男	稔	3・9	1区
松縄珠実	和夫	3・11	1区
山田桂子	信雄	3・11	4区
海老雅也	正勝	3・12	13区
村井聡	凱治	3・12	3区
青柳千春	暢夫	3・13	鷲ノ木
高野耕造	大造	3・14	11区
中村潤	政美	3・14	1区
渋谷哲一	益弘	3・15	漆山
丸山直美	富雄	3・17	桜林
田中久美子	敏明	3・17	布目
田中和明	敏明	3・17	布目
山本孝樹	孝雄	3・18	松野尾
内藤好美	一彦	3・18	東汰上
川村康子	勲	3・19	鷲ノ木
石﨑しのぶ	孝栄	3・20	稲島

おくやみ　（3月中届出）

なまえ	年齢	死亡日	住所
大沢津右ェ門	86	3・4	竹野町
小林ナカ	78	3・5	8区
佐藤五郎	58	3・7	8区
山田ナカ	80	3・7	馬堀
鈴木粂喜雄	68	3・13	栄町
安尻安蔵	75	3・19	前田
平原二太郎	61	3・19	四ツ郷屋
上原ソヤ	77	3・21	竹野町
酒井喜一	71	3・25	漆山
多賀ハツイ	52	3・26	福井
橋本ハル	70	3・26	5区
伊藤六市	71	3・27	福井
小林サク	64	3・28	13区

町民将棋大会
熊倉さん（松組）が優勝

さる三月二十六日巻町公民館で開催された春季町民将棋大会は六十三人が参加し日ごろの腕前をひろうしました。

組別の成績は次のとおりです。

〔松の組〕
一位　熊倉平一郎（三区）
二位　相田繁雄（堀山団地）
三位　塩谷晴一（十区）

〔竹の組〕
一位　佐藤政一（東六区）
二位　野沢二郎（七区）
三位　佐藤正吉（十区）

〔梅の組〕
一位　田辺昭三（漆山）
二位　小田紀元（堀山団地）
三位　田辺真（一区）

〔桜の組〕
一位　笠巻藤治郎（十区）
二位　小川正朗（十区）
三位　斉藤哲雄（一区）

赤ちゃん登場

次代は引き受けた

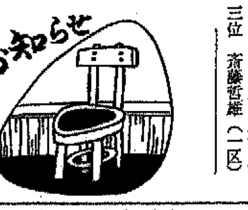
☆ぼくのなまえ　小出康寛（やすひろ）
☆生年月日　四十六年二月二十六日
☆住所　仁箇
☆両親のなまえ　広芳（父）、享子（母）
☆続き柄　長男
☆名づけ親　父
☆なまえの由来　健康で心の広い人間であるように
☆愛称　やっちゃん
☆好物　バナナ、ミカン

☆わたくしのなまえ　亀山みさと
☆生年月日　四十五年十月十五日
☆住所　馬堀西下組
☆両親のなまえ　淳（父）、和子（母）
☆続き柄　長女
☆名づけ親　両親
☆なまえの由来　同部落に「ひとみ」という同年の同姓同名があったため改名
☆愛称　みさとちゃん
☆好物　ミルク、果物

係りから　この欄は一歳から二歳までの赤ちゃんを紹介します。掲載希望の家庭は広報係までご連絡ください。

健やかに育て

お知らせ



持ち主ヤーイ
引揚者交付金に使った写真

引揚者特別交付金請求に使った「大連鉄道学院第一期専修部土木科卒業記念」（昭和十八年二月十五日撮影）の写真が持ち主不明で役場厚生課に保管してありますので、心当たりの方は至急厚生課の方にご連絡ください。

県政モニター募集

県では、県政に関する批判・意見・要望などをきき県政の参考とするため、県政モニター六十人を公募します。

満二十歳以上の県民で、県政について関心をもち、県政モニターとしての熱意がある人。ただし、議員、公務員は除かれます。謝礼は年額三千三百円。

モニター応募者は、県政に関する自由な意見を六百字以内にまとめ住所（郵便番号）、電話番号、氏名、年齢、職業、性別を明記のうえ四月二十二日までに新潟市学校町通一番町（〒九五一）新潟県文書広報課広報係あて送ってください。

町立病院ご案内

町立病院では、次のとおり診療を行なっていますので、ご利用ください。

◇内科　毎日
◇小児科　毎日
◇外科　毎日
◇整形外科　毎日
◇皮膚科　毎日午前
◇眼科　毎週火・金曜日午前
◇泌尿器科　毎週火・金曜日午後
◇脳外科　毎週月・金曜日午後
◇神経科　毎週火・金曜日午前
◇産婦人科　休診中

マイクロバスのご利用を

町立巻病院は通院の患者さんのために巻駅から午前九時と午前十時の二回、町立病院行きマイクロバスを運行しています。また、午前十一時病院前発の帰り車もご利用ください。